

各クラブの会員増強事業取組み紹介

東日本区 会員増強事業主任 鈴木 文昭

各部会に出席させて頂き、「**ワイズの高年齢化**」の問題に驚きを感じました。
ここで東日本区内の各クラブの会員増強事業の取組みと、若手会員の獲得の取組みに頑張っているクラブをご紹介します。
他のクラブも参考にして、新たな取組みをして頂きたいと思います。

1. 東京銀座クラブ

ワイズ・サポーター

イベント・事業などに若い人手が必要！

ワイズ・サポーターとして月 500 円を頂きワイズの事業などに参加・お手伝いをしてもらっています。

若い人たちに、ボランティアは少々のお金がかかる事を教え、ワイズの理念を理解して頂き、いずれワイズに入会してもらおう考えです。

現在 10 名ほどのメンバーがいます。目標として 100 名位にして 60 万位のお金を東日本大震災の支援金にしたいという考えで活動中です。

2. 東京八王子クラブ

40 歳以下の若手メンバーに対して年会費を下げる！！！！

クラブの会則で 40 歳以下のメンバーに対し会費を下げ広く若手メンバーを募集しております。**但し入会して 3 年を経た時は通常の会員として正規の会費となります。**
会費を下げて他のメンバーと**対等**なワイズメンです。

3. 東京グリーンクラブ

CS事業としての「神田川船の会」開催

東京グリーンクラブでは、＜甦れ神田川＞をテーマに、未来に託せる美しい川・水辺の復活と環境整備に貢献すべく、東京YMCAと共に1979年に「神田川船の会」を始めました。今年で32年目、64回になります。千代田区教育委員会にも後援していただき、毎年、春・秋の年2回、「神田川～日本橋川～小名木川～隅田川」を、クラブの会員がガイドとなって「東京水辺ライン両国発着場」から出航し、＜江戸の昔～平成の今＞をタイムスリップ、2時間半、川と橋の歴史を解説、ご案内しております。船は6艙、午前、午後、

共に180名づつ、1日約360名くらいのお客様をお世話するのでクラブメンバーだけでは足りず、運航時の解説や船上のヘルプも含めて「神田川友の会」という一般の有志の方々にお手伝い頂いております。実は、この組織を作ったのは、その活動を通じてグリーンクラブのワイズ活動を見て、理解をしてもらい、仲間にお誘いするという思惑がありました。10人程度の友の会からすでに、ここ2年間で3名が入会をしてくれました。今後もCSとEMCの連携、会員増強を心がけていきます。



4. 国際的な取り組み

ヤング・ワイズ（25歳～40歳までのメンバー）

基本的にはそだったユースが社会にでたときに世代間のおおきなギャップが現在のワイズはあまりにも異なりすぎ、その中間の25歳から40歳の社会人の正式ワイズ(但し26歳以下は現在の半額制度適用可)として国際会費なども納める形です。(エリア、区、部での会費扱いはそれぞれの判断ですが、減額が理想)

そのグループから国際議員枠を2名という一つの目標がありますが、これは当初1名になるかもしれませんし、現在のクラブに入っている40歳までのメンバーも立候補できるのかどうかなどTFの意見まちです。

ユースクラブ - ヤングメンバーズクラブ - ワイズメンズクラブ それぞれの世代でサービスを模索し、クラブライフをエンジョイしてもらうながれができれば、YMCAリーダー、プログラム出身者へも可能性がひろがり、思いだけでない世界的なつながりに加わってもらうことになれば、おおきな広がりができるはずです。